収穫基準値をクリア 飛馬ふじ

らいたい。」とワクワクした表情 で言っていた。 がったので早く消費者へ食べても とを確認し収穫作業を行った。 度をクリアし、色も赤くなったこ であったため、各園地で基準の14 11月5日から各園地で開始された。 じの糖度検査JA指導員によって、 生産者らは「今年はよく出来上 今年は降雨が少なく糖度が高め 当JA高品質ブランドの飛馬ふ



糖度のクリアを見届ける生産者

青森県知事賞受賞

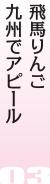
大会が開催された。 芸館にて、第53回青森県食品衛生 11月6日、黒石市の津軽伝承工

きるよう精進したい。」と来年の 大会に期待を寄せていた。 職員が一丸となり獲得した賞であ 生優良施設県知事賞」を受賞した。 環境であったことから、「食品衛 理が他の施設の模範となるような 今回、当JA加工施設の衛生管 境谷工場長は「当JA加工施の 来年はさらに上の賞を獲得で

11月9日㈱イオン九州と青森県

物とその加工品等の情報を発信し、 の連携で、安全・安心な農林水産 Rを行った。 基専務理事が出席してリンゴのP 青森県産品の消費拡大を図るイベ ントが行われ、当JAから三上降

い」と感想を述べていた。 じを試食し「とても甘くて美味し てもいい」と消費宣伝を行った。 多かった為、糖度が高く食味がと は雨も少なく日光に当たる時間が 三上専務理事は「今年のリンゴ 店内では消費者がトキと早生心



飛馬りんご

より良い土づくりを

目指して

多

ございましたら農業振興課までお 元へ届けられる。何か不明な点が 土壌を持ち寄っていた。 リンゴを生産しようと、積極的に れ以外のリンゴ生産者もより良い 上が飛馬ふじの園地の土だが、そ 務付けられている事から、半数以 JAに園地の土壌を持ち寄った。 くの生産者が土壌分析をする為当 飛馬ふじ生産者は土壌診断が義 リンゴの収穫作業も終わり、 分析結果は一カ月程で生産者の

問合せ下さい。



表彰状を獲得した三上加工施設責任者





斉に乾燥させる 持ち込んだ土を

ジュース交換 最盛期迎える

るので、多数のご利用お待ちして 業員は対応に追われていた。 生産者が訪れた。収穫作業が落ち はリンゴジュースの交換に多くの おります。」と呼び掛けていた。 い取りと、ジュース交換が行われ 着いて最初の交換日であった為、 「今日が1番賑わっている」と従 担当者は「12月にもリンゴの買 11月23日、当JA特産販売課で

行った。 湯口支所、

器を持ち込んでいた。今回から枝 で助かる。」と喜んでいた。 てるところが無くて困っていたの 者がシルバーシートや農薬の空容 作業も終わったことで多くの生産 んだ生産者は「最近この支柱を捨 受け支柱も収集可能とし、持ち込 毎年夏と秋に行われており、農

正しい処理方法で廃棄

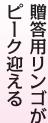
用使用済みプラスチック収集を 11月26日~27日の2日間当JA 相馬支所において農業

が最盛期を迎えていた。

人気の「みつまるくんシリーズ」

リンゴの詰め合わせや、配送準備

に追われていた。 成田主任は意気込んでいた。 いるので協力して届けたい。」と が準備され、関係者は注文の対応 め合わせなど、様々な種類の製品 「去年よりも多い注文を頂いて 「飛馬ふじ」、ふじと王林の詰



当JA特産販売課では、贈答用





ラズレッツで 迅速な対応





-スが生産者の車へ積まれる

贈答用リンゴを詰める作業員



お客様と確認

約の完了までを行う事が可能と の元で各契約の内容確認から、契 が始まった。 から、本格的にタブレット端末「ラ 様に早く、分かりやすい説明が出 フレッツ」を使用した事業の展開 課員は「早く操作に慣れてお客 この端末を使う事によりお客様 当JA金融共済課では12月4日

でいた。 来るようにしたい。」と意気込ん